



人と自然が輝く町
TATESHINA TOWN
立科町

プレスリリース

おそらく長野県内初の取組です！ 平成 30 年（2018 年）6 月 11 日

立科町の宿泊施設へ 開発合宿・ハッカソンの開催を誘致します

立科町は「社会福祉型テレワーク^{※1}」の実現をめざし、町民の就労支援や企業誘致等、多角的な事業推進を行っています。

今回、事業の一環として、主に IT 事業者と町の接点を作り、テレワークに取組む町としての認知度を拡大するために、町内宿泊事業者と協力して、開発合宿^{※2}・ハッカソン^{※3}の開催誘致に取り組めます。

※1 社会福祉型テレワークとは

多様な人たち(子育て世代 ⇒ 障がい者及びその支援者 ⇒ 高齢者 ⇒ ニート・ひきこもり等へ展開)が、町のあらゆる場所で ICT を活用して仕事を通じた社会参加を果たすこと。

※2 開発合宿とは

普通の職場から離れ、リゾート地や温泉地に宿泊して業務に打込む合宿型の企業活動のこと。テーマを決めて集中的に取り組むことで、新サービスの開発や社内コミュニケーションの活性化等のメリットがある。

※3 ハッカソン(hackathon)とは

ハック(Hack)とマラソン(Marathon)を合わせた造語で、特定のテーマに対し、グループ内で技術やアイデアを持ち寄り、サービスやアプリケーションを開発するイベント（経済産業省 HP から抜粋）

1 事業の特徴

【 宿泊事業者の負担なし！】

開発合宿の開催に必要な備品（プロジェクター等）は、町が用意し宿泊事業者に無償で貸出します。当町の高原エリアに、新たな顧客層を呼び込むことも狙っています。

【 開発合宿・ハッカソンの開催が手軽に確実に！】

開発合宿の利用者から備品レンタル料は頂きません。開発合宿の開催に協力的で独自のサービスが設定された宿泊施設で合宿ができるので、企画・調整の手間がかかりません。

【 誘致用専用ウェブサイトは当町で育成中のテレワーカーが作成！】

専用ウェブサイトは当町テレワーク事業「雇用創出型テレワーク」の取り組みの一環として研修中のワーカー5名（子育て中の女性）が作成しました。

サイト名：立科ワークトリップ

<https://www.work-trip.com>



立科町マスコットキャラクター
しいなちゃん

立科町公式ウェブサイト <http://www.town.tateshina.nagano.jp>

立科町 企画課 企画振興係
（課長）竹重和明 （担当）上前知洋
電話： 0267-88-8403（直）
FAX： 0267-56-2310
E-mail： kikaku@town.tateshina.nagano.jp